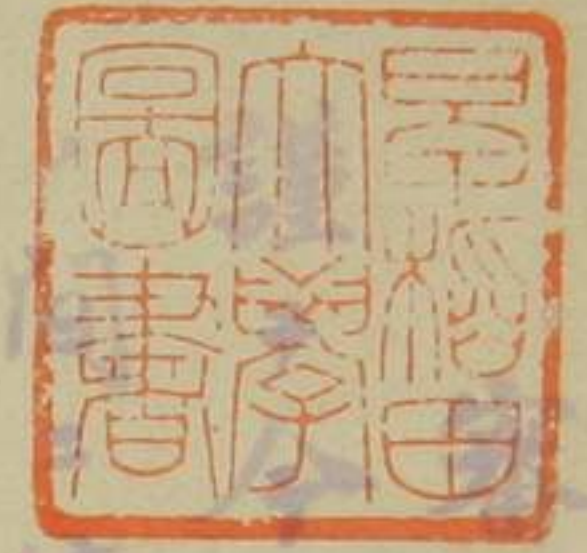


114
A2804



査報告

因仰諮詢、日本國政府、清國政府、
締結セル難破船救助費用償還ニ關ス

ル約定書修正、件ヲ審査スルニ本案ハ別紙
御諮詢案附属書ニ掲ケタル理由ノ如ク事情
已ムヲ得サルモノニ付可決セラレ可然ト認ム
右謹テ審査ノ結果ヲ報告ス

明治三十一年十月七日

樞密院書記官長平田東助

樞密院議長伯爵黒田清隆殿

大正十一年四月
大隈
贈

1874



明治三十一年十月七日郵付

大正
陸軍省
贈

日本國政府ト清國政府トノ間ニ締結シタル
難破船救助費用償還ニ關スル約定書修
正ノ件

日本國政府ト清國政府トノ間ニ
締結セル難破船救助費用償還ニ
關スル約定

日本國政府竝ニ清國政府ハ兩國彼此
ニ難破船ヲ救助スル際ニ當リテ支
給スルキ費用償還ノ法ヲ約定スルコ
ト左ノ如シ

第一條

兩國彼此ニテ沿海ノ遭難人民ヲ救助
スル時支給スル所ノ衣食旅費醫藥及
撈屍埋葬等ノ諸入費ハ總テ其ノ難民
ノ本國政府ヨリ償還スヘシ

第二條

兩國ニテ難民ヲ救助スル時派出スル

所ノ官吏ノ旅費並ニ世話護送及電信
公文往復等ノ諸入費ハ其ノ難民ノ本
國政府ヨリ償還スルニ及ハス

第三條

兩國ニテ遭難ノ船隻及物貨ヲ救助保
存スル為メ需用スル所ノ人夫手間賃
等ノ諸入費ハ其ノ船隻物貨ヲ領收ス

ル者或ハ船隻所有主或ハ物貨所有主
ヨリ償還スヘシ

第四條

以上三箇條ハ明治三十一年十月十五
日即光緒二十四年九月初一日ヨリ實
施シ甲國ヨリ乙國へ廢止ノ通知ヲ為
シタル日ヨリ十二箇月間効力ヲ有ス

へシ

右日本文及漢文各二通ヲ作り雙方其
ノ各一通ヲ執テ證據トス

大日本國北京駐劄臨時代理公使林

軍機大臣刑部尚書廖

大清欽命總理各國事務
太子太傅文華殿大學士等肅毅伯李
禮部尚書 許
戶部尚書 敬
和碩慶親王
軍機大臣戶部尚書 王
刑部尚書步軍統領 崇
尚書銜戶部左侍郎 張

明治參拾壹年玖月肆日

光緒貳拾肆年柒月拾玖日

御諮詢案
附屬書

曩ニ上奏御裁可相成候案ノ通日清兩
國間難破船救助費用償還ニ関スル約
定締結ノ件爾來本大臣ノ訓令ニ基キ
駐清帝國公使ニ於テ清國政府ト商議
中ノ處本月四日締結ヲ了シタル旨今
般同公使ヨリ報告致來候間右至急公
布相成候様致度別紙勅令案ヲ具シ閣

議ヲ請フ

明治三十一年九月二十九日

外務大臣伯爵大隈重信

内閣總理大臣伯爵大隈重信殿

追テ別紙勅令案第三條中「船隻物貨

ヲ領收スル者」下ニ「或ハ船隻所有
主或ハ物貨所有主」ノ十四字御裁可
相成候原案ヨリ増加シアルハ本件
清國政府へ提議ノ際同國政府ヨリ
嘗テ遭難船救助ニ關スル費用ヲ徵
收スルニ當リ大ニ困難ヲ感シタル
實例アルノ故ヲ以テ右修正ヲ申出

テ帝國公使ハ原案ノ儘ニテ不都合
ナカルヘキ旨説明致候得共彼ニ於
テハ是非該文字ヲ加ヘ度旨主張致
候ニ付右ニテモ別ニ差支ノ廉無之
ト認メ且ハ些細ノ點ニテ餘リ事件
ノ結了ヲ遷延セシムルモ如何ト存
シ同意ヲ與ヘタル次第ニ有之候又

本約定原案ノ形式ハ双方記名調印
スル事ニ相成居候處別紙案ノ通り
記名ヲ用ヒス唯官姓ヲ記シ官印ヲ
押捺スル事ニ止メ置候義ハ最初本
件提議ノ際清國政府ハ約定書ヲ以
テヤス前例通普通ノ外交文書ヲ以
テ取極度旨申出帝國公使ハ本大臣

訓令ニ基キ強テ約定書ノ式ニヨ
ルテ同意セシム候然ルニ清國政
府ハ記名ヲ要スルニ於テハ先ツ特
ニ上奏裁可ヲ経ルノ必要ヲ生シ甚
ク好マサル所ニシテ本件ハ事体重
大ナラズ總署ノ權限内ニテ約定ス
ルコトヲ得ヘキモノナレハ双方ノ

記名ヲ用井ザルコト、ナシタシト
云ヒ帝國公使ハ再三記名スルコト
ノ同意ヲ得ルニ努メタルモ清國政
府ハ容易ニ肯諾セス然ルニ帝國政
府ニ於テ右請求ニ應スルモ約定ノ
効力ノ上ニ差異ヲ生スル譯ニモ無
之且ハ約定書ニ記名ヲ用井ザル前

例モ無キニ非ス而シテ是非其記名
ヲ得ントスレハ本件ノ妥協決定ヲ
遷延セシムルノ恐有之タルヲ以テ
此点ハ彼ニ讓步セシメタル次第ニ
有之候間右様御了知相成度尚本約
定實施期日ハ十月十五日ニシテ願
ル相迫リ居候ニ付至急公布方御取

計相成度此段申添候也

參照

日本國政府ト清國政府トノ間ニ締結セル
難破船救助費用償還ニ關スル約定三十一年
六月十四日樞密院決議同十八日御裁可

日本國政府並ニ清國政府ハ兩國彼此ニテ難破
船ヲ救助スル際ニ當リテ支給スヘキ費用償還
ノ法ヲ約定スルコト左ノ如シ

第一條

兩國彼此ニテ沿海ノ遭難人民ヲ救助スル時支
給スル所ノ衣食旅費醫藥及撈屍埋葬等ノ諸入

費ハ總テ其ノ難民ノ本國政府ヨリ償還スヘシ

第二條

兩國ニテ難民ヲ救助スル時派出スル所ノ官吏ノ旅費並ニ世話護送及電信公文往復等ノ諸入費ハ其ノ難民ノ本國政府ヨリ償還スルニ及ハス

第三條

兩國ニテ遭難ノ船隻及物貨ヲ救助保存スル為メ需用スル所ノ人夫手間賃等ノ諸入費ハ其ノ船隻物貨ヲ領收スル者ヨリ償還スヘシ

第四條

本約定ハ明治 年 月 日ヨリ實施シ甲國ヨリ乙國へ廢止ノ通知ヲ為シタル日ヨリ十二箇月間効力ヲ有スヘシ

本約定書ハ二通ヲ調製シ明治三十一年 月

日即光緒二十四年 月 日北京ニ於テ記

名調印スルモノナリ

日本帝國北京駐劄特命全權公使氏名
清帝國、、、、、、、、、、、氏名

